



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

## Press Release

イベント通知



2023年3月27日

# 大阪大学が関西経済界などとともにソフトレガシーを目指す 大阪・関西万博に向け「いのち会議」事業推進協議会を発足！

## ❖ 概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向け、大阪大学と関西経済3団体が、ソフトレガシーとして「いのち会議」事業を推進し、会期中に「いのち宣言」を発することを目指し、3月24日（金）に「いのち会議」事業推進協議会を発足しました。

「いのち輝く未来社会」実現のため、熟議の場の象徴として「いのち会議」を実施します。

「いのち会議」事業では、万博が開催される2025年までに、2つの部門（国際部門・市民部門）を中心とした「いのち会議」での議論を重ねるとともに、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」精神のもと「アクションパネル」による活動を行い、若者たちなど幅広い層の「共創ボイス」の集積と分析に努め、行われた議論や様々な方法で集められた市民の声等を集約し、2025年の万博会期中に「いのち宣言」として発信します。今年秋までに、キックオフシンポジウムも開催する予定です。

つきましては、この活動について報道していただくよう、よろしくお願い致します。

## ❖ 発起人会議など

発起人は西尾章治郎・大阪大学総長▽松本正義・関西経済連合会会長▽鳥井信吾・大阪商工会議所会頭▽生駒京子・関西経済同友会代表幹事▽角元敬治・同代表幹事の5人で、オンライン会議を開き、「いのち会議」事業推進協議会を発足させました。さらに第1回事業推進協議会を開いて、「いのち会議」事業の内容や運営組織の体制、今後の方向性などについても確認しました。





❖ 「いのち会議」事業の活動内容

「いのち輝く未来社会」とは何か（WHAT）、それを実現するための諸課題を探り、どうすべきか（HOW）を考えていきます。その「場」となるのが「いのち会議」事業です。具体的な活動内容は、以下のとおりです。

① 2つの部門を中心とした「いのち会議」の実施

- ・アカデミアを中心に海外の人々とビジョンを描く「国際部門」
- ・企業、NPO・NGO、政府・自治体などが一体となって議論する「市民部門」  
「市民部門」には20代までの学生など若者を中心に活動する「ユースチーム」も参加

② SDGsとBeyond SDGsの「アクションパネル」活動

多くの産学官民のメンバーが連携し、防災、エネルギー、ジェンダー、貧困など諸問題の「アクションパネル」を作り、テーマの達成・創造・革新に向けた活動を推進します。

③ 「共創ボイス」の集積と分析

あるべき社会に向け、若者や子どもたちも含めた多様な人々の声を「共創ボイス」として集め、AIを活用しながら、いのち会議・アクションパネルの取り組みにつなげます。

④ 万博開催期間中に「いのち宣言」の発信

各部門での議論、アクションパネルの成果、共創ボイスをとりまとめ、万博会期中に会場から世界に向けて「いのち宣言」として発信します。

❖ 発起人代表（西尾・大阪大学総長）のコメント

大阪大学は経済界などと一体となって「いのち会議」事業を立ち上げます。「いのち輝く未来社会」実現のために議論を重ね、活動しながら2025年に大阪・関西万博で「いのち宣言」を発するために動き出します。いのち宣言を発することは、2025年の万博の大きなソフトレガシーになるとともに、いのちの重みを改めて考え、かみしめ、その尊さを日本が世界に投げかける大変重要な意義をもちます。

企業、政府・自治体、NPO・NGO、そして博覧会協会とともに、国内外の他大学などとも連携しながら、学生を中心に次代を担う若者たちにも積極的な参加を促します。本事業を、平和で豊かな地球を目指し、「誰ひとり取り残さない」世界を実現するための価値ある宣言へとつなげ、2025年以後も継続されるソフトレガシーを生み出す場に発展させてまいります。